



ケアハウスはくあい新施設長紹介

【ケアハウスはくあい】



新施設長の小野です

10月よりケアハウスはくあいの施設長を拝命いたしました小野真友美です。高校を卒業して社会人となり10年ほど過ぎた区切りの時、介護の仕事への魅力を感じ学生に戻り、実習先である博愛の園の取り組みを聞き入社しました。入社してケアハウスの所属になり、様々な部署を経験させてもらい20年目となるこの時に、原点であるケアハウスに戻ってまいりました。ケアハウスは特養と違い在宅と同じなので、入居者の方々が住みよい住環境の整えと、

必要な時にサポートをする事が求められる部署です。また、30名それぞれ違った環境で暮らしてきた方々が集団生活をするので、日々難しさを感じています。在宅部門の所長としてヘルパーの管理者と兼務になり、現場の職員に助けをもらいながら頑張っていきたいと思っています。

【施設長 小野真友美】

**YouTubeで
博愛社
チャンネルを
開設しました！**

博愛社の中には様々な事業所・施設があります。YouTubeの旧博愛の園チャンネルを「博愛社チャンネル」と名称を変更し、各事業所・施設で動画を作成しYouTubeにアップすることになりました。同時にHPからもご覧になれますのでお楽しみ下さい。

【梶川靖夫】



みてみて～おててあおいろ～



てがたぺったん

【1歳児担任 武田悠】
こどもたちが見るもの・感じるものを一緒に見て、感じて、楽しめるようこれからも沢山の経験ができる機会をつくっていきたいです。

ボディ ペインティング

【こひつじ乳児保育園】

こどもたちが徐々に水に触れることに慣れ、積極的に水遊びを楽しめるようになってきたので、夏の遊びの一环としてボディペインティングを取り入れました。まず、保育士が絵の具を手に取り、画用紙に塗ったり、手形をとって見せると同じように真似をし、楽しそうに笑う姿が見られました。最初から絵の具に触れて、画用紙や自らの身体に

塗り広げたりするこどももいれば、手が汚れてしまうことや絵の具の感触に戸惑いなかなか一歩を踏み出せないこどももいますが、笑顔で活動するお友だちや保育士を見て、「大丈夫かも」「楽しそう」と感じると安心して参加できるこどもが沢山いました。中には大好きなお友だちの背中やお腹に絵の具をつけたり、つけられたりして笑いあう可愛らしい姿があり、私たち保育士もこどもたちの成長を感じられ嬉しく思います。

四季折々

【博愛社
いずみ】



心を和ませる睡蓮

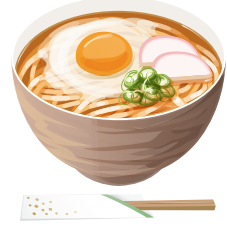
今年の春に念願の睡蓮を購入しました。かわいい花が次々と咲いてくれ、ホームの前を通る方も楽しみにしてくれており楽しく育てています。

上半期は季節や文化を楽しめる庭づくりに力を入れてきました。地域で暮らす子どもたちが普通の暮らしの中で体験している事も、施設生活では知らない事が多かったり、常識が違うことも多々ある中で敷地内の庭で感じられる四季や文化が少しでも子どもたちの生きる力になればと思います。6月に風鈴を飾ったばかりの時には「音がうるさい、寝られない、外して」と言った子どもが、風鈴の音を聞き慣れたことで「いい音やな、好きや」と言った時には、子どもの中に芽生えた感情がとても嬉しかったです。課題のある子どもたちも室内の観葉植物や、めだかなど生きているものに触れて、時には傷つけてしまったり物を壊してしまったりすることもあります。それも想定内でその都度、話をしながら一緒に生きているものを大切にする心が少しずつ育ってきたように感じます。最近、椿ホームに色々な方が素敵な物をプレゼントしてくれることが増えて、みんな喜んでいきます。これからも子どもたちと一緒に楽しい体験や素敵な空間を作っていきたいと思います。

【副主任 柴田真央】

ご招待のお礼

【児童養護施設】



今年度もたくさんさんの企業様より多くのご招待をいただきました。6月には未来こども財団様が丸亀製麺のキッチン

カーを博愛社に呼んでくださいました。実際に目の前で茹でてもらい、茹で立てのうどんを食べることができ、こどもたちも「美味しい！」「もっと食べたい！」との声が多くあがりました。また、イベントの中で、自分たちのオリジナルのうどんを考えてみよう」と事前にとのようなどんながあれば嬉しいか、自分ならこんなうどんを作りたい」と試行錯誤しながらアイ

ディアを考え、当日に丸亀製麺様にプレゼンをする体験をすることができました。8月にはダイヘン様より劇団四季のミュージカルをご招待いただき、あまりミュージカルに触れたことがないこどもたちですが、『ガンバの大冒険』を観劇し、「面白かった、また観たい！」とミュージカルを知る良い機会となり、こどもたちの感性にも繋がったと思います。また、喜八洲様

より「なにわ淀川花火大会」のご招待で20名のこどもと職員とで迫力ある花火を間近で見ることができ、大きな歓声と共に楽しい夏の思い出となることができました。かけがいのない大切な時間をこどもたちと過ごす中で、これほど多くの方々を支えられていくことの感謝の気持ちを忘れないようこどもたちにも伝えていきたいと思っています。ご支援していただいた方々の

お気持ちがかどもたちの生活に力つけて下さっています。感謝する気持ちを大切に、今後も引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。
【児童養護 副主任 永田可菜】



丸亀製麺のキッチンカー

- ▽個人 1万円
- ▽法人 3万円
- ▽博愛社後援会会費 1万円
- ▽いずみも年会費で、期間4月～翌年3月
- ▽郵便振替口座番号 0092074676
- ▽口座名義 社会福祉法人 博愛社

夏の行事

【博愛社】

ハレルヤホームでは8月7日（水）から1泊2日で淡路島へ旅行に行きました。1日目は大浜海水浴場へ行き、そこには水上アスレチックがあり普段強がっている子が怖がっていたり果敢に挑戦しようとする子がいたり様々な姿を発見することができました。



オノコロ

夕食はBBOをしてお腹いっぱいになるまで食べました。2日目はオノコロ（遊園地）とうずしおクルーズに行きました。オノコロでは世界の有名な建造物が1/25サイズで

展示されており、それでも大きな万里の長城に驚きました。うずしおクルーズでは渦の発生理由や満潮干潮にみんない味津々でした。

下は4歳、上は15歳と幅広い年齢層で行った旅行で、各年齢で楽しみ方はそれぞれあったと思いますがハレルヤホーム全員で共通した思い出を作ることができて良かったです。

【ホームリーダー 圓滿涼輔】

博愛社フェスティバルのご案内

【フェスティバル委員会】



オール博愛社で開催します！

今年度の博愛社フェスティバルは10月20日（日）に開催します。昨年度が盛況に終わり、益々盛り上げたい思いから今年度は法人全体でフェスティバルを盛り上げるため4月から委員会が準備に当たっています。

今年度もバザー用品を募集します。食品と電化製品は除き、新品の物に限ります。皆さんで盛り上げていきましょう。

【副担 原田あかね】

博愛社は赤穂での創立以来、来年で一三五年、戦後八〇年になる。今本館に整理保存された資料の大半は戦前までで、今後、戦後の資料整理が残されている。戦後の混乱期、占領政策から国の独立、高度経済成長、バブル経済と崩壊等を背景に、今に至る博愛社の歩みが埋もれている。この間、世界や日本の社会状況も変わり、博愛社自体も大きく変容した。

今を生きる我々にとって残された多くの資料は、我々を過去に案内してくれる大切な宝である。一世紀以上に亘る貴重な史料は、ここで生活されてきた総ての人の生活の記録でもある。それを整理し未

来永劫に保存し、博愛社が歩んだ道を跡づけていくことの責務がある。それを踏まえて、一社会福祉施設の歩みを跡づけ、未来に向けて社会に発信していくことが必要であろう。一方、幸いに創立百年記念誌『春夏秋冬恩寵の風薫る』で博愛社には時代の節目に出版された多くの年史や著作がある。戦前から社長として戦後の混乱期を担われた小橋カツエ氏には『三代の社会事業史 小橋カツエ刀自聞書』という戦前を中心にした著作もその一つである。その中で

博愛社の「戦後の風景」を求めて

博愛社の歴史探検 [43]

八月一日の天皇の放送を聴いた当時は「放送があつて、日をおかずして大阪に帰った小橋さんは、天王寺駅に立つて、早くもその病果が大き一口をあけているのを見た。八月十五日までは、戦災者という名で呼ばれ、不足がちな

都会での、あまりの急激な変化に小橋さんはしばし呆然となつて、それらの痛ましい風景をみつめた」（一七七頁）と記者は記している。

こうしたカツエ社長の見た風景から戦後は出発した。そして、博愛社の内外でも様々な風景、そしてその移り変わりが描き写されている。遺された資料から読み解いていく作業も今後、残されている多くの職員さんたちの記録や暮らし、博愛社を利用された人たちの思い、支援された人々、その一つ一つを丁寧に

かでも何らかの庇護をうけていた人たちが、浮浪児、あるいは浮浪者として名をかえて、たむろしていたのである。昨日までの同朋感は、むきだし

の自己保存欲にかわっていた。

（関西学院大学名誉教授 室田保夫）